

概要

- ・ easyIDECはプロジェクトディレクトリが実行媒体と同じ場所で管理されておりほかのディレクトリにプロジェクトをつくることができない
- ・ ソフト自体は3MB程度なのでいっそ、プロジェクトを講義やテーマごとにディレクトリ構成を決め打ちしてその媒体を配布する形にすると運用しやすいと考える

ディレクトリを10, 20手で作ると大変なのでCSVファイルにExcel等でディレクトリ名をリスト化しておき、それをあらかじめ仕込んでいるバッチファイルに読み込ませることで媒体を配布しやすいようにしたのでここに記載する。

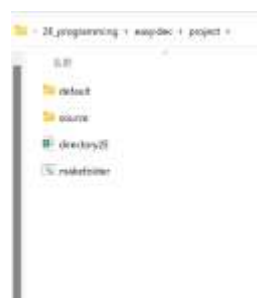
ちなみに、プロジェクトフォルダ直下のフォルダのみがプロジェクトファイルとなりソフトで実行することができる。その中にサブフォルダを作るのはNG
また、プロジェクト用のフォルダには必ずmain.cがないとエディタで開くことができないのでバッチファイルで自動的にmain.cをコピーする仕組みとしている。

配布用媒体作成例

- 1 配布したいZIP名をトップフォルダとしてその直下にeasyIDECの媒体を配置する
☆ ここでは2E_programmingというzip名で配布することを想定



- 2 プロジェクトはeasyidecフォルダのprojectフォルダ内に作成される。
そのため、ここに作成したいフォルダを格納することになる。
ここに以下のようにバッチファイルを含んだファイル構成として格納している。



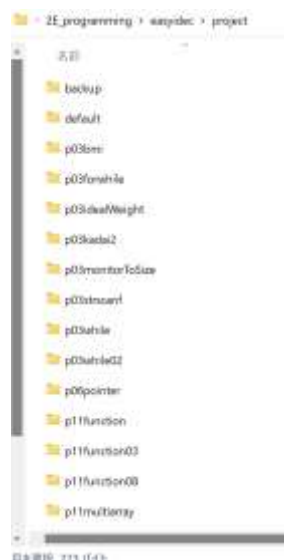
- 3 作成したいフォルダのリストを「directory2E」というファイル名のCSVファイルに以下のように記載する

	A	B	C
1	backup		
2	p03bmi		
3	p03forwhile		
4	p03idealWeight		
5	p03monitorToSize		
6	p03strscanf		
7	p03while		
8	p03while02		
9	p03kadai2		
10	p06pointer		
11	p11function		
12	p11function03		
13	p11function08		
14	p11multitarray		
15	p13struct		
16	p14kadai01		
17	p14kadai02		
18	p14kadai3		
19			

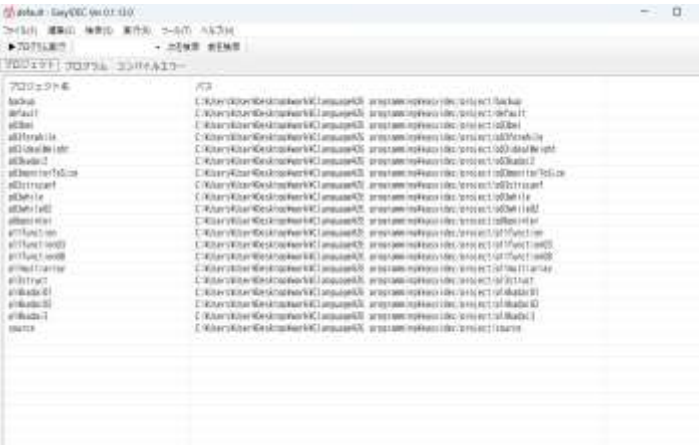
- 4 作成したCSVファイルを「makefolder.bat」にドラッグアンドドロップすると
バッチファイルが実行されてフォルダが一括作成される



- 5 コマンドプロンプトが表示されて一連の処理が完了すると
projectフォルダに所望のフォルダが作成される

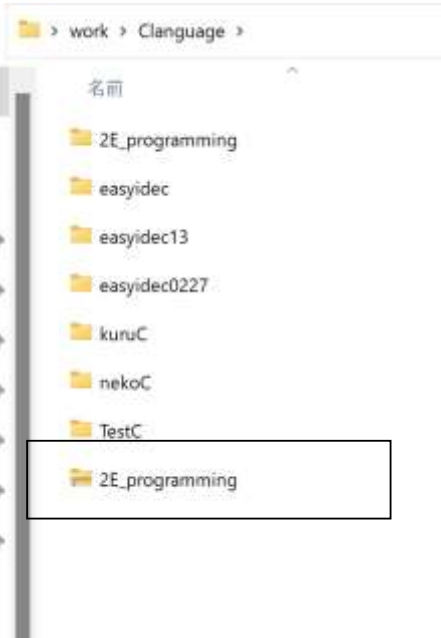


easyIDECのプロジェクト一覧を確認すると以下のように表示される



プロジェクト名	パス
kuuC	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\kuuC
easyid	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\easyid
easyid13	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\easyid13
easyid0227	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\easyid0227
kuuC	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\kuuC
nekoC	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\nekoC
TestC	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\TestC
2E_programming	C:\Users\kiku\Desktop\easyIDEC\project\2E_programming

6 最後にトップフォルダ毎zip化して配布する



zipファイルを展開すればそのまま利用できる